

第13期中央教育審議会 大学分科会 質向上・質保証システム部会

教育・学習の質向上に向けた
新たな評価の在り方ワーキンググループ (第4回)

ヒアリング説明資料

東京都立上野高等学校
統括校長 渡邊 範道



ご挨拶並びに自己紹介

渡邊 範道 (わたなべ のりみち)

東京都立上野高等学校 統括校長

全国高等学校長協会

大学入試対策委員会 委員長

全国普通科高等学校長会 副理事長



本校の概要と進路の状況

創立101年の伝統校 「上野の杜で学ぶ」

- 各学年 8 クラス 全24クラス
- 全校生徒 937名（男子449名 女子488名）
- 東京都教育委員会指定 **進学指導推進校**
→ 卒業生の 9 割以上が 4 年制大学進学



認証評価制度の高等学校側から見た現状認識について

- 高等学校の生徒・教員が認証評価結果を活用しているか。そもそも認識されているか。
 - ▶ ほとんどの生徒に認識されていない。
 - ▶ 一部の意識と関心の高い教員による「**自己**活用」か。
 - ▶ ただし質保証としての認証評価制度への信頼は高い。

認証評価制度の高等学校側から見た現状認識について

■ その要因として考えられることは何か。

- ▶ 学校現場での認知度は低い。
- ▶ そもそも、評価結果は高校生向けに記述されていない。
- ▶ 認証評価のそもそもの役割は大学の質保証では？
(高等学校生徒や大学志願者の活用が想定されているのか)

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

本校の進路指導の実際【全学年共通】

- 模擬試験の受験と結果及び内容の活用
- 学習用動画・課題配信サービスの利用
- 東京都教育庁事業の「校内予備校」
- 受験情報会社による学習・進路指導支援サービス



新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

本校の進路指導の実際【1年次】

- | | |
|---------------------|----------|
| ○ 進路オリエンテーション・個人面談 | 学習習慣確立 |
| ○ 進路適性検査 | 自己理解職業選択 |
| ○ 「総合的な探究の時間」＝「上野学」 | 自己理解学部選択 |
| ○ オープンキャンパス見学 | 学部学科選択 |
| ○ フロンティア講座（同窓生講話） | 職業意識向上 |
| ○ 選択科目の相談などの個人面談 | 受験科目選定 |

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

本校の進路指導の実際【2年次】

- 「総合的な探究の時間」＝「上野学」 自己理解学科選択
- 総合型選抜受験指導（希望者）
- オープンキャンパス見学 学部学科選択
- 大学研究室訪問・大学模擬授業 学部学科決定
- 選択科目の相談等継続的な個人面談 受験科目決定
- 国公立大学ガイダンス 受験校選定
- 勉強マラソン（1日10時間3日間） 受験勉強開始

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

本校の進路指導の実際【3年次】 **第一志望校合格**

- 第一志望校及び受験校研究指導
- 学校推薦型選抜説明会／応募・出願指導／校内選考
- 総合型選抜説明会／応募・出願指導
- 共通テストガイダンス／出願指導
- 受験校決定の個人・三者面談
- 国公立二次試験出願指導
- 受験報告指導／合格体験記指導／予備校ガイダンス

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

高等学校生徒はどのように大学を選択しているのか。

○ **学部・学科選択**が志望も指導も基本。

▶ 「**学びたい学問**」 「**なりたい職業**」 「**取りたい資格**」

○ 自己の学力水準から入れる大学

○ 通学できる範囲・通学したい範囲にある大学

○ オープンキャンパス等で感じた雰囲気の良い大学

○ 自己のプライドや保護者の意向・社会的評価のある大学

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 高等学校生徒の大学選択の現状

高等学校生徒はどのように大学を選択しているのか。

○ 参考になっている資料や情報

- ▶ 大学ホームページ
- ▶ 模擬試験結果による判定
- ▶ 進路指導教員による指導・助言
- ▶ 受験情報誌等の情報
- ▶ 各種ランキング表やメディア・SNSの情報

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 大学認証評価活用の可能性

どのような観点の大学評価があれば進路選択・進路指導がしやすくなるか。（**情報内容**や**提供の環境**の面から）

- 必要な情報が**迅速**かつ的確に入手できるためには
 - ▶ 入学後の自己の成長がイメージできる情報が必要
 - ▶ 的確に比較検討や検索しやすい環境が必要
- アドミッション・ポリシーと認証評価の観点の実質化
 - ▶ 求められる資質・能力が明確か。入学者選抜との整合は。

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 大学認証評価活用の可能性

どのような観点の大学評価があれば進路選択・進路指導がしやすくなるか。（**認証評価の実際**の面から）

- 認証評価への信頼性が高いことと評価結果のギャップ
 - ▶ 評価の観点や方法、評価結果への信頼は厚い（教員）
 - ▶ 評価機関の評価結果が「ほぼ適合」であること
 - ▶ 学生受け入れ、成績評価、単位認定、学位授与方針等の「理想と現実」（生徒・保護者）  **結局は…。**

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 大学認証評価活用の可能性

認証評価がより活用され意義あるものとするためには

- 認証評価結果「高等学校生徒向け」の開発 〔ハードル高〕
 - ▶ 高等学校生徒の視点からの用語選択
 - ▶ 評価結果を検索し比較して活用できる環境整備
- 認証評価結果「高等学校等指導者向け」の開発 〔ハードル中〕
 - ▶ 学生支援の比較と質保証の検証に活用
 - ▶ 教員研修等における活用事例等の開発・普及
 - ▶ 地域（ブロック）で活用できる方策の検討

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 大学認証評価活用の可能性

認証評価がより活用され意義あるものとするためには

- 各認証評価機関からのより一層の情報提供 〔ハードル？〕
 - ▶ 評価項目の見直しや評価結果の簡略化
 - ▶ 安易なランク付け（格付け）とならない工夫を
- 「大学ポートレート」への期待 〔ハードル中〕
 - ▶ まずは進路指導者向けに積極的なPR
 - ▶ 特長と役割を明確にした指導ツールの開発
 - ▶ トップページ工夫・改善、生徒視点の用語への改善

新たな認証評価制度の検討に当たって 考慮して欲しいことについて

■ 大学認証評価活用の可能性

認証評価がより活用され意義あるものとするためには

- 大学の学生が質保証に参画する「全国学生調査」への期待
[ハードル?]
 - ▶ 適正な評価指標となる可能性
 - ▶ 高等学校生徒にとってわかりやすいアンケート方式
- 大学認証評価における「長所」の積極的公表 [現在進行中]
 - ▶ 学生支援の具体的実践と効果（当該大学の「持ち味」）
 - ▶ 入学後の学生の様々な「機会」の創造と成長の軌跡
 - ▶ 高等学校生徒にとっての具体的な成長モデルとなる

おわりに

適正で的確な大学認証評価の継続
認証評価の積極的活用による大学教育の質向上
高等学校の教員と生徒が利用しやすい公表

が図られることを願っております。



ご清聴ありがとうございました。

